

11 回生 岩永 讓さん (佐賀市出身)



選択肢を広げるのは自分の行動、
そして、人との出会い。

- 1994年 4月 弘学館中学校入学
- 2000年 3月 弘学館高等学校卒業
- 2007年 3月 東京医科歯科大学歯学部卒業
- 2007年 4月 久留米大学病院 臨床研修医
- 2009年 4月 岩永歯科医院 院長
- 2011年 4月 久留米大学医学部 助教
- 2016年 4月 Seattle Science Foundation 留学
- 2018年 4月 同就職

(2018年12月現在)

少ない選択肢からの選択

今、正直に思うことだが、私が高校生頃の頃、将来の仕事(夢)を決定する上での判断材料があまりにも少なかった。自分がなぜ歯科医師を目指したのか、答えはこれ以上ないほど単純で、父が佐賀で歯科医院を開業していたからだ。歯学部卒業後は口腔外科医としてキャリアを踏み出したが、数年後、佐賀にある父親の歯科医院を引き継いだ。自分の中で高校生の頃思い描いていた将来に到達した。「これから自分に何ができるか」、毎日自問自答した。答えはまたしても単純だった。大学に戻り口腔外科医として患者さんの診療に従事することだった。仕事を始めて気付いた口腔外科医という職業の「価値」。そしてさらに数年が経ち、患者さんの診療にあたる「臨床」と同じくらい、将来患者さんの診療に役立つ可能性のある「研究」にも大きな価値を感じ始めた。

出会いが広げた「可能性」

口腔外科という分野では主に「手術」によって患者さんを治療する。私の研究分野である「解剖学」は医療系の学生は誰もが習う「科目」の一つであり、手術に必須の分野だ。その分野で世界の頂点にいる人に会いたくて、一緒に仕事がしたいと、シアトルに渡った。今、その人は私の最高の上司であり、仲の良い友人でもある。

私がずっと実践してきた、自分の選択肢(可能性)を広げる唯一の方法は、「人との出会い」である。会いたい人には自分からコンタクトを取り、そこで多くの人に出会い、さまざまな情報を得ることで、徐々に自分の中に選択肢が増えてきて、本当にやりたいことが少しずつ見えてきた。今もなお続けている。20年前の自分に言うことがあるとしたらこの一言である。「出会いが君の選択肢(可能性)を広げる。」



私の人生を変えた上司との出会い

岩永 讓さんのとある一日

7:00 日本からの email チェック

8:00 論文や書籍などの執筆

9:00 スタッフ会議

10:00 Lab で研究

17:00 帰宅

18:00 夕食

19:00 論文や書籍などの執筆

後輩へのメッセージ

皆さんは将来の夢(仕事)をどのように考えているでしょうか?日本は(少しずつ環境は変わりつつあるものの)一般大学の場合は大学卒業までに、医学部、歯学部、薬学部では高校卒業までにその進路を決めないといけません。選択肢が少ない中で将来の夢(仕事)を決定することには困難が付きものです。より多くの選択肢を手に入れるためには、より多くの人と接し、より多くの意見・情報を得てください。その中から自然と自分のやりたいことが見つかるかもしれません。